

2024 年度 日本都市学会第 4 回理事会議報告

第 4 回理事会は、2025 年 3 月 30 日(日)13 時 30 分から東洋大学白山キャンパス(Zoom 併用)にて開催されました。出席者は、山崎健会長、熊澤健一、熊田俊郎、西野淑美、磯部友彦、松本行真、土居洋平(以上対面出席)、増田聡、松村茂、井澤知且、久 隆浩、佐藤彰男、田中晃代、豊田哲也、北川博史、石川雄一、平井太郎、大塚俊幸、佐野光彦、川瀬正樹、有馬隆文(以上 Zoom 出席)、および 4 月から会務担当理事として本部事務局を担当する児玉浩嗣氏がオブザーバーとして対面にて出席しました。

議事の概要は次の通りです。

■議題 1. 2024 年度事業報告案および決算報告見直し

本部から 2024 年度事業報告案および 2024 年度決算見直しについて、報告がありました。未精算分もあるため、決算確定後に監事による監査を経て次期本部に引き継ぐ予定です。

■議題 2. 2025 年度事業計画案および予算案

本部から 2025 年度事業計画案および 2025 年度予算案について、報告がありました。とくに予算案の年報の項目に J-stage 対応予算として 80 万円を計上したことについて説明がありました。今後年報のバックナンバーを J-stage に掲載することを検討していますが、PDF の品質や内容を見極めながら予算の範囲で出来る年数分ずつ掲載できるよう、理事会で議論しながら進めてゆくことにします。

■議題 3. 学会賞事務局報告

東北都市学会より、2025 年度学会賞・論文賞について、外国語著作賞はエントリーがなかったこと、その他の賞は募集中であることなどが報告されました。また外国語著作賞について、推薦・選考に時間的余裕が欲しいとの意見があることから、第 1 次締切りを前倒しし、あわせて対象とする刊行期間を見直すことにしました。＜選考規程＞の改定が必要なので理事会でさらに検討し、決まりましたら改めてお知らせします。

■議題 4. 年報事務局報告

近畿都市学会より、年報 57 号の収支状況、年報 58 号の編集状況について報告がありました。年報 58 号はタイトルを「災害と文明－Reborn と希望」とし、必要な資料収集を行っているところであると説明がありました。

■議題 5. 論文審査事務局報告

中四国都市学会より、2024 年度論文審査について報告がありました。投稿数 18 本(昨年より 9 本減)で、最終的に査読付き論文として 14 本程度の年報掲載がなされる見通しです。また 2025 年度論文審査について、論文投稿締切りを例年通り 11 月末とすることが確認されました。大会発表から投稿締切りまでの期間が短いことについて様々な方法で周知を図ってゆくことになりました。

■議題 6. 第 71 回大会報告

東北都市学会より、昨秋石巻市で開催された日本都市学会第 71 回大会について概要および収支決算について報告がありました。大会参加者は 90 人、各企画では、シンポジウム 60 人、特別セッション 25 人、エクスカージョン 24 人、懇親会 60 人の参加がありました。

■議題 7. 第 72 回大会について

九州都市学会より、日本都市学会第 72 回大会案について報告がありました。大会テーマを「スポーツとまちづくり」とし、11 月 7 日(金)～9 日(日)にかけて佐賀市の佐賀大学を会場に開催します。

■議題 8. 倫理委員会報告

2024 年度の委員会の開催はなかったことが報告されました。2025 年 3 月末で現委員の任期は満了するので各地域都市学会から次期委員を選任することになります。

■議題 9. 学会活性化検討委員会報告

2024 年度は特段報告すべきことはありません。

■議題 10. その他 分担事務局の交代

新年度の分担事務局体制について確認されました。2025 年度に交代する事務局は次の通りです。

本部事務局： 関東都市学会⇒中部都市学会

学会賞事務局：東北都市学会⇒中四国都市学会

年報事務局： 近畿都市学会⇒関東都市学会

論文審査事務局：中四国都市学会⇒九州都市学会

※本部事務局(中部都市学会)の体制は次のようになります。

- ・ 事務局長・磯部友彦：総会・理事会の運営、会長・外部機関との連絡調整など
- ・ 庶務担当・児玉浩嗣：集会、会計、会員名簿の管理など
- ・ 広報担当・阿部亮吾：会報の編集・発行、ホームページ管理など
- ・ 本部事務局の所在地は次の通りです。

〒487-8501 春日井市松本町 1200 番地

中部大学人文学部大塚俊幸研究室内

以上